

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 輪島市立三井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 929-2363
石川県輪島市三井町興徳寺10字29番地

E-mail : mies201@po.city.wajima.ishikawa.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 21 名 女子 7 名 合計 28 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

子どもたちが将来にわたって、より安全で安心に、そして公正に暮らせるための社会実現に向けての基盤づくりを築いていきたい。そのために、身近な素材から課題を見つけ、その解決方法を考え、行動に移す過程を大切にし、自然の中に出向き里山を守っていく環境が必要であることを理解させたいと考えている。

『のと里山空港』がある三井地区は、豊かな森林の中に茅葺き屋根が散在し、多様な生き物たちとの共生が図られている地区でもある。

その中で水生生物の生息状況は、水質を判定することができ、子どもでも簡単に参加することができる。また、調査を通じて身近な環境問題への関心を高める良い機会となる。児童たちに地域の自然を伝え、豊かな感性を身につけさせたいとの思いから活動がはじめられた。

ここには地元のNPO法人や老人会の指導を受け、地域が一体となった多様な取り組みが進められている。また、校内の一角には絶滅危惧種に指定されている「黒めだか」の育成を目指したビオトープがあり、児童にとって「黒めだか」は身近な存在になっている。



主な活動と活動を通してもたされた効果

三井地区のNPO法人「まるやま組」の協力を得ながら、子どもたちが里山探検や農作業を通して、地域の良さを再発見している。この活動は、保護者や地域と協働しており、里山の資源を利用した生産活動や生物多様性の保全、そして里山の保全にも繋がっている。

また、米作りには田植えや稲刈りなどに日本航空高等学校石川の生徒によって協力を頂いている。子どもたちにとっては高校生とのふれあいを通してコミュニケーション能力を培う場ともなっている。



活動の課題

毎年の児童数減小で、多様な取り組みをしていくには保護者の方々の協力は不可欠です。さらに学校教育において地域の素材を教材化するためのアイデアを保護者の方と共に検討していきたいと考えている。また、探険活動では内容の見直しや、多くの地域の方々との連携方法についても具体化していく必要がある。



今後の活動展開

子どもたちが今まで気づかなかった、里山の生きものや環境に目を向け、里山の自然やそこで生活する人々とも触れあう機会をもちながら、里山の良さや魅力に気付くことができるようにしたい。さらに、多くの人に里山の様子や抱いた感動、伝えたい情報など三井地区の良さを学校のホームページで知らせていきたいと考えている。

今、子どもたちが体感している土のにおい、風の音、虫や鳥の声、黄金色の稲のまぶしさなどを大切に、学校の取組が子どもたちの心に残っていくように、学校と家庭・地域が協力し合い、よりよい環境づくりを目指していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)